



新美南吉生誕100年通信

NIIMI NANKICHI 100th Anniversary Year

新美南吉100歳の誕生日まであと5か月

発行 新美南吉生誕100年記念事業実行委員会 〒475-0966 愛知県半田市岩滑^{やなべ}西町1-10-1 新美南吉記念館内



「生誕100年開幕祭」開催

& 新美南吉記念館展示リニューアル

- 1 青山中学校吹奏楽部の演奏に合わせ、「子ぎつねたちのおどり」を踊る子どもたち
- 2 「手袋を買いに」の帽子屋と子ギツネは、大人にも子どもにも大人気
- 3 東京時代の下宿部屋再現。たった3畳という狭さにびっくり
- 4 南吉のふるさと岩滑・岩滑新田地区の囃子方によるお囃子演奏

出演してくれた子どもたちをはじめ、たくさんの地域の方に支えられ、みんなで生誕百年を祝うことができた開幕祭でした。

また、国際ソロプチミスト半田と半田ロータリークラブからそれぞれ寄贈されたステンドグラスと記念オブジェも除幕され、リニューアルされた展示と合わせて、来館者の目を楽しませていました。

開幕祭は、「南吉さんのお正月」をテーマに板山万歳の上演、風揚げや羽子板など正月遊びが行われた他、「ごん鍋」の振る舞いや餅まきもあり、大勢の人で賑わいました。

臨時休館して改装を進めていた記念館は、五日がリニューアルオープン。市長や南吉の遺族らによるテープカットの後、集まった人々が続々と入館し、新しくなった展示を楽しみました。

新美南吉生誕百年の年を迎えた一月五日（土）・六日（日）、新美南吉記念館では「生誕百年開幕祭」が開催され、二日間で約一万三千人の来場がありました。



「最後の胡弓弾き」にも描かれた万歳 半田板山万歳保存会



大風、あがれッ ごんぎつねクラブ(阿久比町植地区)



あつあつの「ごん鍋」 半田商工会議所青年部



ステンドグラス「南吉のふるさと」除幕 贈ソロブチミスト半田



南吉も吹いた貝殻笛 ガイドボランティア「南吉案内人」



竹鉄砲でエイッ よりあいねと



清酒「南吉の里」の鏡開き 協賛・中埜酒造(株)



自転車で紙芝居 きりんの会



羽子板は初めてかな 知多おやこ劇場



「ごんぎつねと六地藏」 贈・半田ロータリークラブ



正月を祝う門松
板山竹炭研究会



みんなが見守るなかでテープカット

生誕百年記念フォーラム わたしが出会った新美南吉（東京）



会は二部構成で、第一部では、児童文学作家の皿海達哉さんと画家の黒井健さんが、それぞれの南吉文学との出会いを語りました。

皿海さんは南吉文学から影響を受けたと自他共に認める南吉ファン。特に「ごんぎつね」などの童話に隠れて見過ごされがちな少年小説の魅力を説きました。

一 月三十日（水）、中野サンプラザで、新美南吉生誕百年フォーラム「わたしが出会った新美南吉」が開催されました。会場のある東京都中野区は、南吉が東京外国語学校時代に暮らしていた街。そんなゆかりの地で行われたフォーラムには、首都圏を中心に全国からの南吉ファン三九〇人が集いました。

この行事は、南吉の遺族が代表を務める「新美南吉の会」（東京）と「新美南吉生誕百年記念事業実行委員会」（半田）が主催し、「日本図書教材協会」の共催事業として行われました。

美南吉記念館の遠山光嗣学芸員が、「いま読む新美南吉」と題して、それぞれの立場から現在の研究の課題などを語りました。

定員をオーバーし、急遽、机を外して用意された会場

「ことばの杜朗読会」に市内小学生らが参加 生誕祭に向けて朗読練習スタート！

七月三十日の南吉の誕生日を挟んで九日間行われる「新美南吉生誕祭」。その開幕行事として、初日の七月二十七日（土）に、ことばの杜朗読会「読み語り〜南吉と出会う」が予定されています。

出演は、元NHKアナウンサーの山根基世、松平定知、広瀬修子、宮本隆治、好本恵の皆さん。子どもたち言葉の力と大切さを伝える活動をしている有限責任事業組合「ことばの杜」のメンバーです。

さらに半田市内十三小学校から二名ずつ選ばれた一年生から五年生までの児童、市民、教師合わせて三十四人も参加することになり、一月二十日（日）、市立さくら小学校で初練習

には、半田や安城からも約二十人が駆けつけ、地元のアピールをしました。講演者も参加者も南吉文学を愛する人ばかりで、楽しく熱気に満ちたひと時となりました。

が行われました。

この日は、東京から駆けつけた山根さん（写真）と好本さんから、作品を何度も読んで理解することの大切さと基本の発声方法について教わりました。

今後も毎月、ことばの杜メンバーが半田を訪れて指導にあたり、七月の公演を迎えることになっています。



展覧会情報

ごんぎつねの世界展

名古屋会場では十二日間に三万一千人以上が観覧した生誕百年記念巡回展が、静岡市美術館で開催中。子どもたちによる感想画の展示やワークシヨップなどの独自プログラムも。

期間 三月三十一日（日）

場所 静岡市美術館（JR静岡駅前）

観覧料 一般六百円、大高生・七十歳以上四百円、中学生以下無料

※詳しくは電話〇五四―二七三―一五一五（同館）

*

児童文学者コーナー 第五回「新美南吉」

開催中の「日本の子どもの文学」／国際子ども図書館所蔵資料で見る歩み／展の関連展示として半年毎に入れ替わる「児童文学者コーナー」で新美南吉が紹介されています。

期間 八月十八日（日）

場所 国際子ども図書館（東京・上野公園）

観覧料 無料

※詳しくは電話〇三一―三八二―二〇五三（同館）



命日関連行事のご案内

3月22日、新美南吉は没後70年を迎えます。
命日からの3日間、29歳で逝った夭折の作家を記念行事で偲びます。

没後70年「南吉を偲ぶ会」～花・美しいものを愛する心～

南吉が愛した「花」をテーマに、彼が伝えようとした「美しいものを愛する心」を音楽と朗読で綴ります。

■日 時 **3月22日(金) 15時～16時30分 (開場30分前)**

■場 所 半田市立岩滑小学校体育館 (南吉の母校)

■内 容

- ◇参加者による献花
- ◇胡弓演奏 石田音人さん (プロ胡弓奏者)
- ◇朗読・群読 市内朗読団体の皆さん、岩滑小学校児童有志
- ◇解説 新美南吉記念館学芸員
- ◇展示 岩滑小学校児童による南吉学習紹介 (作品・映像)

■持ち物 スリッパ、ビニール袋 (靴袋)

■参加費 無料

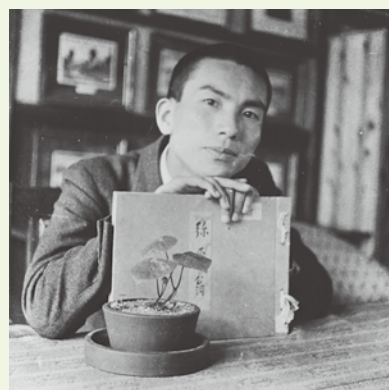
■申込み 不要

■駐車場 岩滑小学校運動場が利用できます (12時15分～)

■主 催 新美南吉生誕100年記念事業実行委員会

■協 力 あいち知多農業協同組合半田事業部、
半田市花卉園芸組合、半田農業高校、岩滑小学校

※先着300名の参加者に花の苗をプレゼント



新 美 南 吉



石 田 音 人

新美南吉生誕100年没後70年記念 五木寛之講演会

■日 時 **3月24日(日) 14時～15時40分**

■場 所 雁宿ホール (半田市福祉文化会館) 大ホール

■講 師 五木寛之さん (作家)

■入場料 500円 (自由席)

■チケット販売所 雁宿ホール、新美南吉記念館、半田市立博物館、
半田市民交流センター、半田市役所 (学校教育課)、
亀崎図書館、チケットぴあ (Pコード 623-344)

■発売日 2月21日 (木)

■主 催 半田市、半田市教育委員会、新美南吉顕彰会、中日新聞社

■後 援 新美南吉生誕100年記念事業実行委員会



五 木 寛 之

このほかにも3月22日(金)に「命日ウォーク」「法要」、23日(土)に「蓄音機コンサート&南吉の初恋ショートトーク」を行います。詳しくは新美南吉記念館 (0569-26-4888) にお問い合わせください。